



中学部だより



自立活動 ～日々の積み重ねを大切に～

自立活動は、個々の自立と社会参加の実現を目指し、学習上又は生活上の困難を改善・克服するために学習や日常生活に必要なスキルを習得します。個別または集団の形態で行われ、「健康の保持」「人間関係の形成」「心理的な安定」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の6区分、27項目の中から、障害の特性や発達の状況に応じて適切な目標と内容を選定し、指導します。

中学部では、こうした自立活動を通じて、生徒一人一人が自分の可能性を広げ、得意なことをさらに伸ばし、前向きに取り組む姿勢を育むことを重視しています。また、成功体験を積み重ねることで、自己肯定感を高め、より豊かな自己理解と社会的適応力の獲得につなげていくことを目指しています。

取組について

心理的な安定



自立課題や余暇の過ごし方、リラックス方法等を学びます。

健康の保持



ラジオ体操やランニング、ラダーを使って、体力の維持・向上を目指します。

人間関係の形成



上級生から作業の手順を学びます。言葉遣いや立ち振る舞いを意識します。

身体の動き



体幹トレーニングや手指の巧緻性を高める課題に取り組めます。

コミュニケーション



あいさつの練習、表情やジェスチャーを使ったやり取りから、実生活を意識したコミュニケーション力を身につけます。

環境の把握



色や形、空間などの概念を理解し、生活や学習の手掛かりにします。

Challenge!

挑戦する中学部

本校では、京都府の「学校・アート（文化）・出会いプロジェクト」の一環として、京都の文化や芸術にふれる体験活動を行っています。

9月には、2年生が「いけばな体験」に取り組みました。普段は使うことのない花切ばさみや剣山を使いながら、講師の先生のアドバイスを受けて、自分の思いを込めて花を生けました。初めての挑戦でしたが、どの作品も個性が光っていて、子どもたちの真剣な表情や、完成したときの嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。

今後は、11月に3年生が「茶道体験」、11月・12月には全学年で「和太鼓体験」を予定しています。これからも、京都の伝統文化にふれる貴重な機会を通して、子どもたちの豊かな心を育てていきます。

